小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日(17:30~18:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	12人	1人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの関わりの時に担当をチーム制にしてケアマネとプラン作成から関わっていく。 ・プラン変更時や、必要時にミニカンファレンスを行えるようスケジュールに組む。 ・新規利用者については、初回から1ヶ月経過した時点でサービスの振り返りを行う。 ・新規利用者は、担当職員(担当チーム)がADOCを作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニカンファレンスをする時間が取れない。 ・利用、初回から1ヶ月時点ではサービスの見直しは出来ていないが、実行記録で振り返りが出来ていると思う。 ・ADOCに関しては、一通り利用者全体に実行する事ができた。 <p>*ADOCとは、リハビリ現場における目標設定、プロセスを支援、改善するアプリです。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	6	1	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	4	1	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	13	2	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	12	3	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・必要とする支援は、事前の情報がある程度まとめられており、状態や身体機能について動画で確認できる事も増えて、対応しやすくなった。 ・ケアマネの課題分析が的確で、入所前に人物像がイメージできる。また、ケアマネともコミュニケーションを通じ、状況変化に対応できていると思う。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミニカンファレンスをする時間が無い。事前にスケジュールで調整する事ができない。 ・業務、勤務に偏りがあり、早、遅1ができるスタッフが増えなければ業務改善が難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者に関しては、担当者会議やカンファレンスに職員が出席できるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日(17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	6人	0人	16人

前回の改善計画
・引き続き、ADOCの活用を含めて、アプリが苦手なスタッフには紙媒体で対応するなど誰でも評価できるかたちを確立する。 ・担当チームにする事で、関わる時間を確保できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ADOCの評価をみんなが出来るような体制にできた。 ・ADOCの活用を含め、チームでの話し合いの場があり、その人の目標「したい」が知り得る。 ・話し合うと言う意識づけは出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	8	7	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	10	5	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	9	1	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	7	2	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ADOCで評価して、全体ミーティングで発表する機会を設ける事で、チームでの話し合いを行う事ができ、また、利用者の「したい」を知り得る機会になった。 ・利用者のしたいが分かった場合、対応可能であれば実践することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・目標を意識した関わりは、充分とは言えない。担当だからと言って、時間が多く持てるわけではない。 ・評価はしても、本人の「～したい」を目指したかかわりと計画書が結びつかないケースがある。 ・日々の業務に追われる対応となり、目標を忘れてしまう。 ・勤務調整不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・主任が中心となり、担当の利用者様の「～したい」が実現できるように、日々の生活に取り込めるような個別援助計画書を作成する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日(17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	5人	1人	16人

前回の改善計画
・担当をチーム制にして、以前からの暮らしを10個以上把握し、本人の声にならない声を言語化できるよう取り組み、ADOCと合わせて全体ミーティングで発信する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・本人の声にならない声をチームで言語化できていない。 ・利用者の以前の暮らしをプランに結びつけることができない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	8	6	2	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	13	0	1	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	4	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	12	2	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	13	2	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ADOCの活用により、そこで得た情報がミーティングで発信されるようになり、改善が進んでいる。 ・本人の状況に合わせた介助は出来ている。 ・本人の変化や、基礎的な介護面に関しては、情報共有も含めて実施できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様によっては、聞き取りが難しく、以前暮らしを10個以上も把握できない。 ・一時的な対応となりやすく、継続的な支援には至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・体調の変化等は、情報共有ができるようになってきているので継続していくのと、入浴介助で、職員によってやり方が違うところがあるケースもあるので統一できる仕組みをつくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日 (17:30~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	0人	8人	7人	16人

前回の改善計画

- ・ケアマネが主体となって、利用者のエコマップを作成に取り組む。
- ・地域関係を把握するために、民生委員さんと繋がりを強める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・エコマップを作成する予定だったが、スケジュールに組み込むことも出来ず、結果、エコマップの作成が出来ていない。
- ・民生委員さんとの繋がりも、深める事が出来ていない状況。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	5	4	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	6	4	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	4	4	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	5	9	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ケアマネを中心として良く連携できていると思う。
- ・自宅から通ってみえる人の多くが、家族の支援と、通い、訪問、泊まりを利用しながら、自宅中心の生活が継続されており、なんとか生活が守られていると思う。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域資源に結びつけることができていない。事業所だけの支援になりがち。
- ・地域との繋がりを作るようなプランになっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・前年度同様、主任が主体となり、チームカンファレンスにケアマネが加わり、エコマップの作成に取り組むようにする。
- ・地域資源の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日(17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	3人	4人	9人	16人

前回の改善計画	・エコマップを作成する事によって、ある程度地域との関わりも分かってくると思われるので、それをケアに活かせるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・エコマップの作成自体が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	5	6	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	10	1	4	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	12	3	1	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	13	2	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わり、変化は見逃す事なく、できるだけ情報共有するように全体的に意識が高まってきていると思う。 ・自宅に帰りたいというニーズに出来るだけ添えるよう支援している。 ・配食サービスの活用で、朝から夕までの食事を全て施設でといった地域登録の方が減少した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源に結びつけることができず、事業所だけの関わりになりがち。 ・地域包括支援センターをもっと活用するといいい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域包括支援センターから地域の情報を入手して、小規模多機能型居宅介護とまり木として活用できそうな、資源は利用していくよう計画書に位置付けをしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日(17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	4人	12人	16人

前回の改善計画
・地域の小学校に相談し、コロナ禍でも出来る交流が無いかな、また困っている事などあれば協力していき、地域との繋がりを強くする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・小学校の交流会は、1月 Zoom で行う事が決定した。 ・高校や、大学の Zoom での施設紹介や、授業を行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	4	10	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	13	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	1	13	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	3	9	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・地域包括支援センターが開催する、認知症ステップアップサポーターに参加できた。 ・わんぱくキッチンを地域交流スペースで定期的で開催しているので、そこで地域の方に知って貰える機会が増えた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域の参加予定だったイベントがコロナで中止になってしまい参加できなかった。 ・会議に参加できる職員が決まっている事や、会議の開催とスケジュール調整がうまくいかず、出席できていない現状がある。 ・

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・Zoom を使用しての、交流や施設見学等定着化してきたので、もっと幅広く利用できるような取り組みを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日(17:30~18:30)

7. 運営

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	5人	4人	16人

前回の改善計画	・防災について(BCP計画)に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・BCPの進捗状況など、運営推進会議で発表を行った。法人全体で取り組むことになっているので、基本的なところから順番に計画を立てていく方向性である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	5	8	2	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	6	2	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	8	3	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	0	6	10	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者からの声の吸い上げは事業所としてできている。 ・理想とする事業所にするために意見は言うようにしている。 ・計画的な防災訓練は行っている。 ・苦情があった場合は、できるだけすぐに対応している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域の方との交流がなかなかできない。 ・防災訓練に至っては、地域の人や家族も参加できる訓練になるといいと思う。 ・BCP計画に取り組み始めたばかりで、まだ途中の状況。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・昨年に引き続き、BCP計画の作成に取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日（17:30～18:30）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	6人	2人	16人

前回の改善計画

- ・認知症初任者研修を受けていない人は、随時受ける。
- ・継続的にスキルアップにつながる研修の案内をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・認知症初任者研修は、計画的に随時受けている。
- ・Zoomを使用しての研修参加は実際には増えて、参加する職員も増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	7	4	2	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	5	1	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	13	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	3	4	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・研修はオンラインを含めて参加している。
- ・職場、内、外の研修に出来るだけ参加している。
- ・リスクマネジメントで、トラブルレポートの共有は出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会の参加ができない。（開催されていない）

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・認知症初任者研修を引き続き必要な職員に受けてもらう。
- ・新人職員の指導マニュアル作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日（17:30～18:30）

9. 人権・プライバシー

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	9人	4人	3人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度の勉強会を行う。（包括支援センターに講和してもらう）・身体拘束、虐待の研修はもちろんのこと、コミュニケーションについての勉強会も行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・実際に、事業所の勉強会で成年後見制度のことを包括支援センターに講和してもらった。・全体ミーティングで、接遇（コミュニケーション）のことについて勉強会を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6	10	0	0	16
②	虐待は行われていない	10	6	0	0	16
③	プライバシーが守られている	1	9	6	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	2	11	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	11	4	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束、虐待は行っていない。・リスクは伴うものの。ベッド柵や壁で動きを妨げる事のないようにしている。言葉による拘束も気を付けている。・身体拘束、虐待などあってはならない事なので、自分の行動、言動には気を付けて利用者と接するよう心掛けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・居室のドアが開いたままになっている事があり、プライバシーが守られていない。・オーバーテーブルなどの環境調整器具の使用に対して、身体拘束となりかねない使用になる事がある。・利用者の前に他の利用者の話をする事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束、プライバシー保護などの勉強会を継続することと、利用者に対しての言葉かけの見直しを行う。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団友愛会	代表者	岩砂 智丈	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に開放されている地域交流スペース「ふらっと広場」がある。 ・医療法人である強みを活かし、看護師、作業療法士等を配置し、医療依存度の高い方にたいしても、自立支援のためのケア体制が整備されている。 ・在宅生活を支える為に、柔軟な訪問サービスの提供を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 とまり木	管理者	住友 あゆみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	6人	0人	17人	1人	0人	1人	0人	26人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・担当をチーム制にして、(ADOC)を作成する。その情報を全体ミーティングで共有し、必要なプランについては計画書の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ADOCで評価をして、全体ミーティングで発表する機会を設ける事で、チームでの話し合いを行う事ができ、また、利用者の「したい」を知り得る機会になった。 ・利用者のしたいが分かった場合、対応可能であれば実践することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価①～⑨資料内容から事業所の取組が良く分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ADOCでの評価が定着してきたので、来年度は評価を基に利用者の～したいに取り組めるよう計画に位置づけできるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの対策はこれからも継続すると思われるため、不安が無いように家族様にも対応等を発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所でも面会等の制限が変更した場合は出来るだけ早急にご家族にご案内するように努めた。 ・面会制限がある時期に、家族が来所された場合は、出来るだけ詳しく利用者の様子をお伝えするよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で利用者がどんな生活をしているのかが分からないことが家族にとって不安を増強されている現状がある。 ・正面玄関から事務所のスタッフの顔が目視できるので、入りやすい造りになっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況は継続すると思われるため、環境整備に気を付ける事はもちろんだが、コロナ禍でも充実した生活が送れるようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもできる交流が無いが、地域の小学校等にも相談し、困っている事などあれば協力していき、地域との繋がりを強くする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出向く事は難しい現状ではあったが、Zoomを使用しての施設見学や、交流が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域活動自体が多くないと思いますが、地域に出たい思いを伺っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の何名かが地域の避難訓練に参加することができるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の近隣住民の方に、担当者会議に出てもらえるような取組みを行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に、担当者会議に地域の方に出席してもらった事は出来なかった。 ・認知症の方で、外出して自宅に戻れなかったケースで、警察の方 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても本人の思う生活ができるよう周りの環境を整える。

		にもご協力を頂いた人がいて、今後もそういった場合に協力して頂けるように、警察に情報提供をして、連携できるようにした。		
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を考えながら、参加できる行事があれば参加し、地域に出向いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、運営推進会議はほぼ書面での開催になってしまったが、毎回しっかりと活動報告を頂いていますと言うお声を頂くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見をすぐに改善させることは難しいと思いますが、出来る部分から取り組まれていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度もコロナ禍は続くと思われるが、出来るだけ対面での運営推進会議の開催に取り組み、地域の意見を吸い上げる。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は BCP（事業継続計画）の作成に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の、運営推進会議の議題としても取り上げたが、来年度も継続して BCP 作成に取り組む予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施は安心です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度から引き続き、BCP 計画の作成を行い、完成させる。